

News Release

2021年5月31日

株式会社日立ハイテク

顧客協創を実現する新拠点を米国に設立

—半導体市場における技術革新を支援し、技術・経営課題解決に貢献—

株式会社日立ハイテク(社長:飯泉 孝/以下、日立ハイテク)は、日立ハイテクグループである Hitachi High-Tech America, Inc. (社長:Craig Kerkove/以下、日立ハイテクアメリカ)の米国オレゴン州ヒルズボロ市に、半導体エンジニアリング新拠点 Hitachi Center of Excellence in Portland の設立をお知らせいたします。米国の半導体技術開発拠点をこの新拠点に集約し、半導体関連市場のお客様と日立の先進的なデジタル技術を活用してお客様の価値創生につながる Lumada ソリューションをお客様と一緒に作り上げていくことで、お客様の技術革新を支援し、技術・経営課題の解決に貢献いたします。



【Hitachi Center of Excellence in Portland 完成予想図】

現在、AI や IoT の実用化、5G 対応のデジタル社会を迎え、データ通信量は指数関数的に増加しています。それに伴い、データ通信を支えるデータセンターや基地局への設備投資も積極的に行われ、EV(電気自動車)や自動運転技術など自動車関連向けにも半導体デバイスの需要は広がっており、今後も半導体関連市場は成長・拡大することが見込まれます。

半導体関連市場の成長とともに、半導体開発には継続的な技術革新が必須で、微細化・立体化・積層化などの技術の進展により、お客様の経営に直結するこれら技術課題の解決がますます複雑化・長期化しています。

日立ハイテクアメリカは、2014年、オレゴン州ヒルズボロ市にプロセスエンジニアリングセンタを設立し、半導体製造のエッチング工程での研究開発・生産を支援する海外拠点としてお客様の技術課題解決に貢献してきました。

半導体の先端技術開発で、今後ますますの伸長が期待される米国において、日立ハイテクアメリカでは、これらの支援に加えて、半導体製造の各製造工程でお客様とともに開発期間の短縮、生産性・歩留まり向上に向けたソリューションをお客様と一緒に作り上げることをめざすため、技術開発拠点を集約し、米国オレゴン州ヒルズボロ市に新たなエンジニアリング協創拠点を設立いたします。

新拠点は、鉄筋コンクリート 地上 2 階構造で、2022 年 8 月竣工を予定しています。また、新拠点ではお客様とのコラボレーションエリアも設け、日立が進める Lumada ソリューションの重要な取り組みの一つとして、日立ハイテクグループのコア技術である「見る・測る・分析する」技術を用いた最新の加工、検査・計測、解析装置と、日立製作所の IT、OT (Operational Technology) 技術で、より一層お客様と密接に連携し、ソリューションと一緒に作り出していまいります。

日立ハイテクグループは、今後も、お客様とともに新たな社会・環境価値を追求・創造し、最先端のモノづくりに貢献いたします。

【新協創拠点の概略】

所在地：米国オレゴン州ヒルズボロ市

竣工：2022 年 8 月予定

使用延床面積：約 20,348 m²

構造：鉄筋コンクリート 地上 2 階構造

■日立ハイテク 半導体製造装置に関するウェブサイト

<https://www.hitachi-hightech.com/jp/products/device/>

■日立ハイテクアメリカに関するウェブサイト

<https://www.hitachi-hightech.com/us/>

■お問い合わせ先（日立ハイテク 総合お問い合わせ）

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-hightech/jp/about/general/form_input.jsp

以上